



2024年11月7日

各 位

会 社 名 I-PEX 株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 土山 隆治  
(コード番号 6640 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員 財務統括部長 嶋崎 岳志  
(TEL. 075-611-7155)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年8月8日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 2024年12月期通期連結業績予想の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	64,000	3,800	4,700	3,000	161.72
今回修正予想 (B)	63,000	2,500	2,500	700	37.73
増減額 (B - A)	△1,000	△1,300	△2,200	△2,300	
増減率 (%)	△1.6	△34.2	△46.8	△76.7	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	59,014	△759	△555	△1,269	△68.42

### 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、電気・電子部品事業において、主力製品であるコネクタやデータセンター向け HDD の需要が堅調に推移したことにより、売上高を牽引しました。一方、自動車部品事業においては、EV市場の低迷や自動車メーカーの品質不正問題等による生産停止は解消されつつあるものの、自動車部品メーカーの在庫調整の影響が長引き、部品需要の回復は限定的となりました。設備事業においても、半導体メーカーにおける車載用半導体の在庫過多や、各自動車メーカーのEV向け投資が延期される等の調整局面が継続しており低調に推移しました。以上の理由より、売上高は事業毎の濃淡はあったものの概ね計画通りに進捗した一方で、受注減少に伴う操業効率の低下等により、各段階利益は想定を下回る結果となりました。

以上の結果を踏まえ、第3四半期までの業績動向から、パソコン向けコネクタやデータセンター向け HDD の需要が引き続き堅調に推移すると予想される一方で、足元における為替の動向、自動車や半導体市場において長引く在庫調整の影響等、先行きの不透明な状況が継続しており、総合的に勘案した結果、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上